

# 令和2年 死亡災害発生状況

滋賀労働局  
令和3年1月末現在

業種	本年 (令和2年)	前年同期 (平成31年・令和元年)	前年 年間計 (令和元年)	前々年 年間計 (平成30年)
全産業	18 (7)	10 (3)	10	11
製造業	5	4 (1)	4	2
建設業	6 (3)	2	2	3
運輸交通業	1 (1)			1
林業		1	1	
商業	1	2 (2)	2	2
【内 新聞販売業】		2 (2)	2	
その他の事業	5 (3)	1	1	3
【内 警備業】	2 (2)			2

( )内は交通事故で内数

業種	大津			彦根			東近江		
	本年	前年同期	前年 年間計	本年	前年同期	前年 年間計	本年	前年同期	前年 年間計
全産業	9 (5)	3 (1)	3 (1)	3 (2)	4 (1)	4 (2)	6	3 (1)	3 (1)
製造業	1	1	1	1	2	2	3	1 (1)	1 (1)
建設業	6 (3)	1	1					1	1
運輸交通業	1 (1)								
林業					1	1			
商業		1 (1)	1 (1)		1 (1)	1 (1)	1		
【内 新聞販売業】		1 (1)	1 (1)		1 (1)	1 (1)			
その他の事業	1 (1)			2 (2)			2	1	1
【内 警備業】	1 (1)			1 (1)					

# 令和 2 年 死亡災害の概要

滋 賀 労 働 局  
令 和 3 年 1 月 末 現 在

番号	業 種 (規模)	発生日 時間帯	事故の型	被災者の職種 年代	発 生 概 要
1	上下水道 工事業 (1名)	2月 14時頃	崩壊・倒壊	作業 者・技 能者 30歳代	被災者は、幅1.1m、深さ3.5mに掘削した掘削床において、下水道管の埋設作業を行っていたが、掘削面が崩壊し、崩れた土砂に埋もれたもの。
2	建築設備 工事業 (4名)	2月 19時頃	交通事故 (道路)	作業 者・技 能者 20歳代	被災者は、自動車を運転して道路を走行中、自動車がスリップして道路をふさぐように停車したところに、後続のトラックが自動車の運転席側面に衝突したもの。
3 ・ 4	その他の 建設業 (4名)	4月 18時頃	交通事故 (道路)	作業 者・技 能者 40歳代 及び 50歳代	【 死亡労働者 2名 】 ワゴン車に8人が乗り合わせ、工事現場から事務所へ戻るため高速道路を走行中、道路のカーブ部分でスリップして側壁に衝突し、車の外に投げ出された2人が死亡し、他の6人も負傷したもの。
5	ガラス・同製品製 造業 (29名)	5月 14時頃	墜落・転落	作業 者・技 能者 20歳代	ガラス原料に用いる炭酸リチウムを投入するサイロ内において、被災者が、炭酸リチウムに埋もれた状態で発見されたもの。
6	その他の 建設業 (7名)	6月 13時頃	爆発	作業 者・技 能者 40歳代	製造設備の撤去作業において、メチルエチルケトンを用いていた処理槽の解体のため、被災者は、プラズマ溶断を行っていたところ、爆発が起こり、その衝撃で死亡したもの。
7	警備業 (27名)	6月 7時頃	交通事故 (道路)	警備員 60歳代	被災者は、事務所に出勤後、同僚1名とともに自転車を運転し、警備対象の工事現場へ移動していたが、川沿いの道路を走行中、突然体勢を崩し、川に転落し、翌日発見されたが、死亡が確認されたもの。
8	農業 (4名)	7月 16時頃	交通事故 (道路)	作業 者・技 能者 40歳代	被災者は、草刈り機を載せたフォークリフトで農道を走行していたところ、農道脇の側溝にて横転した。その際、被災者は運転席から投げ出され、横転したフォークリフトの下敷きとなり死亡したもの。
9	金属製品製造業 (5名)	7月 16時頃	高温・低温 の物との接 触	作業 者・技 能者 60歳代	被災者は、屋根があるが3方向に壁がない出荷スペースにいたところ、突然倒れ、救急搬送されたが回復せず、死亡したもの。原因は熱中症によるもの。
10	貨物自動車運送 業 (27名)	8月 7時頃	交通事故 (道路)	運転者 60歳代	被災者は、ワゴン車で配送を行った後、事業場へ戻っていたところ、トンネル内で、被災者が運転するワゴン車が側壁に激突し、その弾みで対向車線の側壁に激突し、被災者は車外へ投げ出され、死亡したもの。
11	その他の事業 (7名)	10月 11時頃	墜落・転落	作業 者・技 能者 60歳代	被災者は、同僚1名とダムの堆砂量測定のため、のり面に設置されている杭の測量を行っていたところ、のり面の下方にある杭の測量を行うのに昇降ロープが必要となったため、同僚が車まで取りに行った間に、被災者がダム湖に転落し溺死したもの。
12	建築工事業 (2名)	10月 11時頃	墜落・転落	作業 者・技 能者 50歳代	軽量鉄骨造2階建家屋解体工事に従事していた被災者が、屋根上で屋根パネル材の解体をしていたところ、屋根上から地上の基礎コンクリート上に墜落し、死亡したもの。
13	倉庫業 (3名)	11月 13時頃	はさまれ、ま きこまれ	運転者 40歳代	被災者は、事業場敷地内の倉庫内において、リーチ型フォークリフトを使用して荷をラック(荷を保管するために設置されている棚)の下に置く作業を行っていたところ、背後にあった別のラックとフォークリフトの運転席との間に胸部を挟まれ、死亡したもの。
14	病院 (396名)	11月 17時頃	激突され	看護師 60歳代	被災者は、業務を終えた後、職員専用駐車場において、自らの軽乗用車の駐車位置に向かって歩いていたら、むかつて左側から、被災者に同僚の運転する軽乗用車が衝突し、死亡したもの。
15	警備業 (200名)	12月 9時頃	交通事故 (道路)	警備員 60歳代	被災者は、公道の補修工事現場において、交通規制にかかる誘導業務を行っていたところ、マイクロバスにはねられ、死亡したもの。
16	繊維工業 (61名)	12月 10時頃	はさまれ、ま きこまれ	作業 者・技 能者 50歳代	遮熱シートと防水シートを接着させ建材用のシートを製造するラミネート機で、シートの切断不良の不具合が生じたため、被災者は当該機械の動作を止めることなく機械内部に入り込み不具合を解消しようとしたところ、シートとともに、上半身を巻き込まれ、死亡したもの。
17	機械器具製造業 (200名)	12月 14時頃	はさまれ、ま きこまれ	作業 者・技 能者 40歳代	被災者は、自動運転中のアルミダイカストマシンに頭部をはさまれ、死亡したもの。
18	木材・木製品製造 業 (138名)	12月 10時頃	はさまれ、ま きこまれ	作業 者・技 能者 60歳代	被災者は、木材加工の一連の作業を自動で行う機械に不具合が生じたことから、不具合を解消しようと、当該機械を稼働させたまま、進入防止柵を開けて柵内に入り、機械付近で不具合の状況を確認していたところ、木材を水平移動させる掴み機と機械のフレームに頭部を挟まれ被災したもの。

本資料は、県内等での同種災害の再発防止に資することを目的に作成しています。  
速報性を重視しているため、今後において加筆・修正を行う場合があります。